

受講者用

平成24年度 厚生労働省 先駆的保健活動の推進事業
中堅期保健師コンサルテーションプログラム(行政分野)
 受講者 募集要項

本会では、平成 22 年度より、市町村の中堅期保健師の力量形成をねらった「中堅期保健師コンサルテーションプログラム」を開催しております。本年も下記の通り、中堅期保健師コンサルテーションプログラムを開催いたします。つきましましては、下記要項をお読みいただきお申込みいただきますようお願いいたします。

1. 目的・目標

目的 次期統括者の役割を担える中堅期保健師の育成

目標

- ・ 複雑かつ社会問題化した困難事例や新たな課題に対応するため、地域に潜在する健康課題を分析できる能力を高め、事業を展開するための実践力を向上する。
- ・ 地域職域の健康課題に応じた事業を展開する中から、その成果を新たな政策課題として提示できる能力を強化する。
- ・ 自組織において、中堅期保健師としての持てる力を組織で十分に発揮できるとともに、組織の活性化につながるような働きかけやシステムの改善・提案・構築ができる能力の向上を図る。
- ・ 共同で学び合うことを通じて、保健師の専門性の経験知や保健師活動の真価を再認識することで、モチベーションの向上、保健師としてのアイデンティティの強化につながる。

2. 対象

市町村に所属し、保健事業（介護予防事業等）に携わっている中堅期の立場にある保健師で、概ね10年～20年程度の実務経験を有し、所属長の推薦を受けた者 15名程度
 ※実務経験年数は、市町村に限らず保健師としての通算した実務経験年数で可

3. 実施期間・場所

- 1) プログラム実施期間：平成 24 年 7 月～平成 25 年 2 月
 - ・ 前期プログラム 平成 24 年 7 月 31 日(火) 9:30-17:00、8 月 1 日(水) 9:30-15:30
 - ・ 中期プログラム I 平成 24 年 9 月 19 日(水) 9:30-15:30
 - ・ 中期プログラム II 平成 24 年 11 月 6 日(火) 9:30-15:30
 - ・ 後期プログラム 平成 25 年 2 月 8 日(金) 9:30-15:30、9 日(土) 9:30-15:30

2) 開催場所：公益社団法人 日本看護協会 JNAホール

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2 Tel:03-5778-8504

4. 実施内容

- 1) プログラムの特徴
 - (1) テーマ設定
母子保健、生活習慣病予防、介護予防等の 3 テーマより、自組織における保健活動上の課題であり、実際に取り組むことができるもの 1 テーマを選択する。
 - (2) プログラム
① グループ構成：グループ活動の効果もねらい受講者 4～5 名程度の編成とする。
② 形式：講義形式にとどまらずグループワークを多く実施し、さらに、実践的に展開し、実践力を培うものである。
 - (3) コンサルタントの配置
1 グループに 2 名、保健師育成に熟練した実践者を配置し、専門的な観点から指導助言を行なう。

コンサルタント一覧 ○の各氏はコンサルタントの育成を担当する ◎は育成リーダー

コンサルタント	
母子保健	○中坂育美（日本看護協会／常任理事） 野村美千江（愛媛県立医療技術大学保健学部看護学科／教授） ○佐久間清美（愛知県立大学看護学部看護学科／教授）
生活習慣病予防	三上房江（滋賀県看護協会／第二副会長） ◎堀井とよみ（日本看護協会／保健師職能委員会副委員長） 宇田優子（新潟医療福祉大学健康科学部看護学科／准教授）
介護予防	

2) 受講者の実施事項

現任教育プログラムに参加した者は、以下の事項を実践する。

- (1) 事前課題
 - ・ 指定課題図書を読む。
 - ・ 自己の選択したテーマにおいて、これまでの実践とその結果とそれについて、以下の視点で整理分析を行う。
 - ① 健康課題の根拠となるデータ等の整理分析
 - ② 法的施策的情報整理
 - ③ これまでの取り組み、関連事業の総括
 - ④ これまでの取り組み、関連事業の総括
 - ・ 整理分析結果をもとに課題の抽出と実践計画(試案)を策定する。
- (2) コンサルタントから指導助言を受けながら、実践計画(試案)を修正し、実践の見直しを立てる。
- (3) 実践計画に基づいて以下の「能力強化のための実践」を自組織の仲間と共同で取り組む。
 - ① 地域データ等の整理分析の精査
 - ② 法的施策的情報整理
 - ③ これまでの取り組み、関連保健事業の総括
 - ④ 対象者聞き取り訪問と事例検討
 - ⑤ 関係する機関、者への聞き取り訪問
 - ⑥ 組織的活動計画・実践

※ コンサルタントから実践に伴う指導助言を受けながら、計画修正・実践・評価をする。

(4) 計画・実践・評価について、資料化し、それらをもとに発表・討議する。

(5) 自組織での政策提言を行う。

(6) 成果の公表や、関連する本会事業推進について協力する。

3) その他

参加者には受講内容証明証と修了証を発行する。

5. 募集及び選考方法

1) 募集期間：6 月 18 日(月)～7 月 13 日(金)12:00 必着

2) 応募資格

受講者は以下の要件を満たしていることを条件とする。(看護協会会員・非会員は問わない)

- (1) 現在、市町村に所属し、保健事業（介護予防事業等）に携わっていること
- (2) 保健師実務経験を 10 年～20 年程度を有する者
- (3) 所属の理解が得られ、プログラム実施期間を通じて継続参加できること
- (4) 自組織での組織的な実践が可能な協力的役割が求められること
- (5) これまでや現在で、事業の総括やリーダー格的役割を担った経験があること
- (6) 自組織で、今後、次期統括者としての役割を担いたいこととする意志があること
- (7) 本プログラムでの計画、実践、成果の記録やデータ等の提出ができること

6. 成果の公表や学会発表、取材対応等

- 1) 本事業の普及啓発をねらい、成果の公表や学会発表、マスコミ等の取材には積極的に対応していただく
- 2) 発表時期は成果報告書提出後（平成25年4月以降）とする
- 3) 日本看護協会の「平成24年度保健師活動強化コンサルテーション事業」として実施した旨を明示すること
- 4) 本事業の実施年度途中に取材を受ける場合は、本会事務局に事前連絡すること

7. 費用

受講費無料、参加のための旅費交通費は自己または所属自治体負担

8. 応募方法

- 1) 応募書類の提出
応募希望者は、応募書類一式（様式1-3）を整えて期日までに以下申請書類の提出先住所に送付する。
※応募書類は、日本看護協会公式ホームページ（<http://www.nurse.or.jp/>）よりダウンロードする。

- 2) 応募期間（締切）
平成24年7月13日（金）12:00必着

- 3) 送付先

封筒に「中堅期保健師現任教育プログラム(行政野)応募」と朱書き、以下住所に郵送する。

公益社団法人 日本看護協会 事業開発部 保健師活動強化コンサルテーション事業担当

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2

9. 選考結果の通知および発表

- 1) 決定者には、申請者・所属長あてに文書で通知する。
- 2) 選外者に対しては、申請者本人のみに文書で通知する。
- 3) 結果通知は、平成24年7月中旬迄の発送を予定する。

※備考：応募者の中から、書類審査を行い決定する

【選考基準】

- ① 応募資格の要件を満たしていること
- ② 志望動機が明確であること
- ③ 質疑上の課題を持ち、解決に向けて取り組む意欲があること
- ④ 推薦者の推薦理由が明確であること

【問合せ先担当部署・担当者】

公益社団法人 日本看護協会 事業開発部（担当：塚尾、亀ヶ谷）

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2

TEL:03-5778-8549 FAX:03-5778-5602

E-mail: jna-phn@nurse.or.jp

課題1・事前

受講者用

公益社団法人 日本看護協会 事業開発部

平成24年度 厚生労働省 先駆的保健活動交流推進事業
中堅期保健師コンサルテーションプログラム 事前課題について

本プログラムでは、参加者のみなさまが実践している内容を元にグループワークを進める等、より実践に基づき、プログラムを進めてまいります。つきましては、次の内容をご確認の上、事前課題等ご準備方よろしくお願ひ申し上げます。

尚、事前課題（様式1、2）と「個人評価シート」につきましては、**7月27日（金）9:00**までに、日本看護協会事業開発部まで e-mail 添付でご提出ください。

1. 事前課題について

1) 事前課題その1：課題図書を読む

以下の全テーマ共通、各自選択したテーマ別の課題図書をお読みください



課題図書一覧

テーマ	書名	著者	発行年月	出版社
全テーマ共通 (必ず目を通してください)	公衆衛生看護活動における評価の現状と課題	中坂育美	2009	保健医療科学、58(4)、p349-354
	保健師のベストプラクティスの明確化とその推進 方策に関する検討会報告書		2007	平成19年度地域保健総合推進事業
	生活習慣病予防のためのグループ支援【第5章】	久常節子、井伊久美子	2009/05	日本看護協会出版会 p91-101
	地区診断から始まる見える保健活動実践推進事業報告書		2011/03	平成22年度地域保健総合推進事業
	産後うつへ保健師はどう関わるべきか自殺事例から学べること	中坂育美	2008	保健師ジャーナル、64(7)、p584-588
母子保健	エリアマネジャーとサービスマネジャーの重層的 地区活動の提案	中坂育美	2009	保健師ジャーナル、65(10)、p822-829
	個別的なアプローチから地域活動へ展開した事例	中坂育美	2010	実践地域看護学 (TACS 別冊)、p230-239
	相談対応の技術	中坂育美	2009	保健師ジャーナル、65(4)、p264-268
	妊娠・産褥期の自殺及び自殺企図事例から学ぶ支援スタッフのかかわり	中坂育美	2009	母子看護学会誌3(2)、p33-41
	母子保健と子ども虐待	中坂育美	2007	小児科臨床 60(4)、p805-810

以下は、各自選択したテーマに依りて各自入手の上ご一読ください

課題1・事前

生活習慣病予防	生活習慣病予防のためのグループ支援	久常節子、井伊久美子	2009/05	日本看護協会出版会
介護予防	ケアマネジャー必修 24時間ケアプラン 地域における介護予防の効率的・効果的な手法を探る	村嶋幸代	2000/05	へるす出版
		堀井とよみ	2010/3	社団法人全国保健センター連合会

※お手元に上記文献がないようでしたら別添の文献検索の方法をご参照ください

2) 事前課題その2：「実践内容記入シート（様式1）」「実践計画記入シート（様式2）」の作成

保健事業の実施においては、事業の目的・目標、健康課題、対象、実施方法・時期、必要な資源、予算、経費、評価の視点、運営上の課題、進行計画など、様々な点を検討・熟慮し、計画書(企画書)に盛りこまれ、成果を上げることが期待されています。

今回のこのシートでは、保健事業企画の前段階で、基本となる「健康課題」を保健師として十分に把握・分析し、事業展開につなげていける力量の形成・気づきを得ることを目的としています。そのため下記をご参照のうえ必ずご記入し、7月27日（金）9:00までにご提出ください。

- 用紙サイズ、枚数について：様式1、2共に**各A4・2ページ**におまとめください
- 所定の様式1、2を使用してください。書きぶりは自由です（巻末の記入要領をご参照ください）。Wordで作成しメール添付して送信ください。メールで送信できない方は、下記までご連絡ください。
- 提出していただいたレポート（様式1、2）は、参加者全員に配付し共有することが前提となっております。予めご了承ください。（部外秘となっている事項等については、各自、ご判断のうえ、記載において、固有名詞を使わないなどの工夫をお願いします。）
- 実践の参考として「平成22年度 厚生労働省先駆的保健活動交流推進事業 保健師活動強化コンサルテーション事業報告書 中堅期保健師の力量形成のためのコンサルテーションプログラム」p14-16 をご参照ください。実践内容記入シートの記入例については、p17-46 をご参照ください。

- 上記報告書は日本看護協会の公式HPからダウンロードできます。
日本看護協会公式HP <http://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/senkuteki/22-houkokoku.pdf>

3) 事前課題その3：「個人評価シート」の記入

個人評価シートの「4段階評価」と「評価の理由」を必ずご記入ください。

課題1・事前

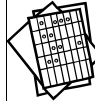
2. 事前課題(様式1、2)の前期プログラムでの発表について

- 1) 様式1、2の内容について、下記の通り、発表していただきます。
 - (1) 1日目(7月31日): テーマ別グループワークで、グループ内で発表していただきます。
 - (2) 2日目(8月1日): 1日目講義内容をふまえて加筆修正し、テーマごとに代表者1名の方に発表していただきます。
- 2) 発表時間
 - (1) 発表時間は、1日目2日目ともに1人7分をお願い致します(時間厳守)。

3. 事前課題の提出について

- 1) 上記「様式1、2」と「個人評価シート」は、**7月27日(金)9:00**までにE-mailに添付して提出してください。
- 2) 提出の際には、テーマと氏名の記入を忘れずをお願い致します。

提出先 E-mail: jna-phn@nurse.or.jp



★事務局かひとこと★
「どの程度書いたらいいのかなあ」、「書ききれない・・・」など、色々と迷われるかと思いますが、まとめるのも演習のひとつと捉えていただき、ご自身で「重要」と考えたことを中心にまとめてください。

■担当部署
公益社団法人 日本看護協会 事業開発部
〒150-0001
住所: 東京都渋谷区神宮前5-8-2
電話: 03-5778-8549(ダイヤルイン)
FAX: 03-5778-5602
e-mail: jna-phn@nurse.or.jp(豚尾・亀ヶ谷)

本プログラムでの取り組みは、一人で実践するのではなく、中堅期保健師として自組織の上司、同僚、部下等と共同で取り組んでください。

課題1・事前

記入要領

■ 事前課題 実践内容記入シート(様式1) 記載項目

I. 実践テーマ(タイトル)

平成25年1月の後期プログラムまでに実践が可能なテーマに絞ってご記入ください。

II. 実践内容

1. 担当する地域の健康に関するデータ等の整理・課題分析

- ・ 本プログラムで、あなたが取り組む実践テーマを中心に、基本となるテーマや、課題と考える根拠となるデータやご自身の問題意識がより明確になるようなデータを記載してください。
- ・ 前述の実践データを、ご自身がどのように読み取っているのかもご記入ください。

2. 法的施療的情報整理

- ・ あなたが取り組むテーマに関連、もしくはご自身の実践に親連して活動の根拠となる法令・通知・要綱等や指針、所属する組織等の内規や、それをどう判断して実践に反映させているか、理解している範囲をご記入ください。

3. これまでの取り組み・関連事業の総括

- ・ あなたが取り組むテーマについて、これまでの自組織の取り組みの総括(経緯や要点を短くまとめたもの)、経過や実施内容、関連事業も含めて確認しながら、ご記入ください。
- ・ その際、対象者の反応、事業の評価、自組織の活動実績、振り返り等も含めてご記入ください。

※この「実践内容記入シート(様式2)」は、毎回加筆修正を重ね、少しずつ完成度を高め、最後にこのプログラム参加の成果物として提出するものです。課題解決に向けて同僚・上司・関係者に理解をもとめたり、自身の活動の模範を示す際の材料として、有効に活用して下さい。実践は受講者が一人で行うのではなく、中堅期保健師として自組織の上司、同僚、部下等と共同で取り組んでください。

■ 事前課題 実践内容記入シート(様式2) 記載項目

「実践計画記入シート」には、今後課題解決に向けて取り組む内容のタイムスケジュールを記入して下さい。

平成24年度 厚生労働省 先駆的保健活動交流推進事業
中堅期保健師コンサルテーションプログラム 課題について(中期I)

本プログラムでは、参加者のみなさまが実践している内容を元にグループワークを進める等、より実践に基づき、プログラムを進めてまいります。つきましては、次の内容をご確認の上、課題等ご準備方よろしく申し上げます。

尚、課題(様式2、3)につきましては、**9月12日(水) 12:00**までに、日本看護協会事業開発部までe-mail添付でご提出ください。

1. 課題について



1) 課題：「実践計画記入シート(様式2)」「実践内容記入シート(様式3)」の作成

保健事業の実施においては、事業の目的・目標、健康課題、対象、実施方法・時期、必要な資源、予算、経費、評価の視点、運営上の課題、進行計画など、様々な点を検討・熟慮し、計画書(企画書)に盛りこまれ、成果を上げることが期待されています。

今回のこのシートでは、保健事業企画の前段階で、基本となる「健康課題」を保健師として十分に把握・分析し、事業展開につなげていける力量の形成・気づきを得ることを目的としています。そのため下記をご参照のうえ必ずご記入し、9月12日(水)12:00までにご提出ください。

- 用紙サイズ、枚数について：様式2 **A4・2ページ**、様式3 **A4・4ページ以内**におまとめください
- 書きぶりは自由です(巻末の記入要領をご参照ください)。Wordで作成しメール添付して送信ください。
- 提出していただいたレポート(様式2、3)は、参加者全員に配付し共有することが前提となっております。予めご了承ください。(部外秘となっている事項等については、各自、ご判断のうえ、記載において、固有名詞を使わないなどの工夫をお願いいたします。)
- 実践の参考として「平成22年度 厚生労働省先駆的保健活動交流推進事業 保健師活動強化コンサルテーション事業報告書 中堅期保健師の力量形成のためのコンサルテーションプログラム」p14-16をご参照ください。実践内容記入シートの記入例については、p17-46をご参照ください。

- 上記報告書は日本看護協会の公式HPからダウンロードできます。

日本看護協会公式HP <http://www.nurse.or.jp/home/publication/pdf/senkuteki/22-houkoku.pdf>

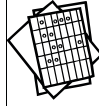
2. 課題(様式2、3)の中期プログラムでの発表について

- 1) 様式2、3の内容について、下記の通り、発表していただきます。
 - (1) テーマ別グループワークで、グループ内で発表していただきます。
 - (2) テーマごとに代表者1名の方に発表していただきます。
- 2) 発表時間
 - (1) 発表時間は、1人7～10分程度でお願い致します(時間厳守)。

3. 事前課題の提出について

- 1) 上記「様式2、3」は、**9月12日(水) 12:00**までにE-mailに添付して提出してください。
- 2) 提出の際には、テーマと氏名の記入を忘れずにお願致します。

提出先 E-mail: ina-phnn@nurse.or.jp



■担当部署
公益社団法人 日本看護協会 事業開発部
〒150-0001
住所 東京都渋谷区神宮前5-8-2
電話:03-5778-8549(ダイヤルイン)
FAX:03-5778-5602
e-mail: ina-phnn@nurse.or.jp(家電・電ヶ谷)

本プログラムでの取り組みは、一人で実践するのではなく、中堅期保健師として自組織の上司、同僚、部下等と共同で取り組んでください。



記入要領

■様式2 実践計画記入シート 記載項目

前期プログラムを受講後、加筆修正をして再提出をお願いします。「実践計画記入シート」には、今後課題解決に向けて取り組む内容のタイムスケジュールを記入して下さい。

■様式3 実践内容記入シート 記載項目

I. 実践テーマ(タイトル)

平成 25 年 1 月の後期プログラムまでに実践が可能なテーマに絞ってご記入ください。

II. 実践内容

1. 担当する地域の組織に関するデータ等の整理・課題分析

- ・ 本プログラムで、あなたが取り組む実践テーマを中心に、基本となるデータや、課題と考える根拠となるデータやご自身の問題意識がより明確になるようなデータを記載してください。
- ・ 前述の実践テーマを、ご自身がどのように読み取っているのかもご記入ください。

2. 法的施策的情報整理

- ・ あなたが取り組むテーマに関連、もしくはご自身の実践に関連して活動の根拠となる法令・通知・要綱等や指針、所属する組織等の内規や、それをどう判断して実践に反映させているか、ご記入ください。

3. これまでの取り組み・関連事業の総括

- ・ あなたが取り組むテーマについて、これまでの自組織の取り組みの総括(経緯や要点を短くまとめたいもの)、経過や実施内容、関連事業も含めて確認しながら、ご記入ください。
- ・ その際、対象者の反応、事業の評価、自組織の活動実績、振り返り等も含めてご記入ください。

4. 事業対象者からの情報収集

- ・ あなたが取り組むテーマの対象者に、これまでの保健サービス利用歴や保健サービスに対する意見・感想を確認し、事業実施者の企画・狙いと照らし合わせてください。
- ・ 聞き取りを通して、自組織のこれまでの活動のあり方や事業の評価を行ってみたいでしょう。

5. 関係・協力する組織・部署・担当者からの情報収集

- ・ あなたが取り組むテーマに関連する組織・部署、関係者に、現状の取り組みや課題認識など情報収集し、自身の視点と、関係者・関係部署との視点の違いなどを確認し、組織の全体的な課題を把握しましょう。

◎なお、4と5は、1から3をまとめた上で、把握した課題やあなたの問題意識が、妥当かどうかを検討するために必要な情報収集となります。単に「聞いて回る」のではなく、課題意識を持って把握することが大切です。

※この「様式3 実践内容記入シート」は、毎回加筆修正を重ね、少しずつ完成度を高め、最後にこのプログラム参加の成果物として提出するものです。課題解決に向けて同僚・上司・関係者に理解をもとめたり、自身の活動の根拠を示す際 materials として、有効に活用して下さい。実践は受講者が一人で行うのではなく、中堅期保健師として自組織の上司、同僚、部下等と共同で取り組んでください。

平成24年度 厚生労働省 先駆的保健活動交流推進事業
 中堅期保健師コンサルテーションプログラム 課題について(中期II)

1. 課題について

1) 課題：「実践内容記入シート（様式4）」の作成

- 用紙サイズ、枚数について：様式4 **A4・6ページ以内**におまとめください
- 中期IIで提出した（様式4）を加筆修正して再提出してください。書きぶりは自由です（巻末の記入要領をご参照ください）。Wordで作成しメール添付して送ってください。
- 提出していただいたレポート（様式4）は、参加者全員に配付し共有することが前提となっております。予めご了承ください。（部外秘となっている事項等については、各自、ご判断のうえ、記載において、固有名詞を使わないなどの工夫をお願いします。）

2. 課題(様式4)の「中期プログラムII」での発表について

- 1) 様式4の内容について、11月6日「中期プログラムIII」では、下記の通り、ご発表していただけます。
 (1) テーマ別グループワークで、グループ内で発表していただけます。
 (2) テーマごとに代表者1名の方に全体発表していただけます。
- 2) 発表時間は、1人8分程度でお願い致します(時間厳守)。

3. 課題(様式4)とアンケートの提出について

- 1) 課題「様式4」を加筆修正して「受講者アンケートII」は、**10月30日(火)1200**までにE-mailに添付して提出してください。
- 2) 提出の際には、テーマと氏名の記入を忘れずをお願い致します。

提出先 E-mail: jna-phn@nurse.or.jp

本プログラムでの取り組みは、一人で実践するのはなく、中堅期保健師として自組織の上司、同僚、部下等と共同で取り組んでください。

■ 担当部署
 公益社団法人 日本看護協会 事業開発部
 〒150-0001
 住所 東京都渋谷区神宮前5-8-2
 電話:03-5778-8549(ダイヤルイン)
 FAX:03-5778-5602
 e-mail: jna-phn@nurse.or.jp(豚尾・亀ヶ谷)

記入要領

■ 様式4 実践内容記入シート 記載項目

I. 実践テーマ(タイトル)

平成25年1月の後期プログラムまでに実践が可能なたーマに絞ってご記入ください。

II. 実践内容

1. 担当する地域の権限に関するテーマ等の整理・課題分析

- ・ プログラムで、あなたが取り組む実践テーマを中心に、基本となるデータや、課題と考える根拠となるデータやご自身の問題意識がより明確になるようなデータを記載してください。
- ・ 前述の実践データを、ご自身がどのように読み取っているのかもご記入ください。

2. 法的施策的情報整理

- ・ あなたが取り組むテーマに関連、もしくはご自身の実践に関連して活動の根拠となる法令・通知・要綱等や指針、所属する組織等の内規や、それをどう判断して実践に反映させているか、ご記入ください。

3. これまでの取り組み・関連保健事業の総括

- ・ あなたが取り組むテーマについて、これまでの自組織の取り組みの総括(経緯や要点を短くまとめたり、経過や実施内容、関連事業も含めて確認しながら、ご記入ください)。
- ・ その際、対象者の反応、事業の評価、自組織の活動実績、振り返り等も含めてご記入ください。

4. 対象者聞き取り訪問と事例検討

- ・ あなたが取り組むテーマの対象者に、これまでの保健サービス利用歴や保健サービスに対する意見・感想を確認し、事業実施者の企画・狙いと照らし合わせてください。
- ・ 聞き取りを通して、自組織のこれまでの活動のあり方や事業の評価を行ってみましょう。

5. 関係・協力する組織・部署・担当者からの聞き取り訪問

- ・ あなたが取り組むテーマに関連する組織・部署、関係者に、現状の取り組みや課題認識など情報収集し、自身の視点と、関係者・関係部署との視点の違いなどを確認し、組織の全体的な課題を把握しましょう。

◎なお、4と5は、1から3をまとめただで、把握した課題やあなたの問題意識が、**妥当かどうかを検討するために必要な情報収集となります。単に「聞いて回る」というのではなく、課題意識を持って把握することが大切です。**

6. 組織的活動計画・実践

- ・本実践テーマについて、1～5の整理・記入を通して、もしくは普段からの課題意識から、改善に向けて組織的に展開したいと考える今後のあり方について、以下の1)～5)の項目をできる限り具体的に記載ください。

- 1) 活動目的
- 2) 活動方法
- 3) 活動の評価指標(※1の資料p69-73より抜粋)

※活動内容の最終評価をどのような視点で行う予定かを以下の項目別にご記入ください

評価項目	評価指標(例)
インプット(企画評価・ストラクチャ評価)	活動計画に盛り込んだ活動の手法や投入する人材、相回し、会議日時、講演会や研修会の企画は目標に対して妥当だったか、絞り込んだ対象者に対して妥当だったか等
アウトプット(実施評価)	活動計画を実施した回数、受診率や研修会・講演会などの参加者数、参加者数のうち計画時に絞り込んだ対象者数、参加満足度等
アウトカム(結果評価)	設定した目的目標にどれだけ近づいたのか(ex 有病率、OOL 指標、健康的な生活習慣、治療中断者率等の住民の変化)

■参考となる資料

- ※1 平成22年度地域保健総合推進事業「地域診断から始まる見える保健康活動実践推進事業報告書」, 2011 (注: 上記※1の資料は8/8-9前期プログラムで配布した冊子です)
- ※2 藤内修二, 保健医療福祉の計画と評価, 保健医療福祉行政論, 医学書院, 2010
- ※3 中坂育美, 保健衛生看護活動における評価の現状と課題, 保健医療科学, 2009
- ※4 佐甲隆, 保健活動における評価とモニタリングの意義, 厚生労働科学研究, 健康科学総合研究事業「地方健康増進計画の技術的支援に関する研究」報告書, p70-80, 2005

活動実践後は以下4), 5) もご記入ください

- 4) 活動結果
- 5) 評価結果

※この「様式4 実践内容記入シート」は、毎回加筆修正を重ね、少しずつ完成度を高め、最後にこのプログラム参加の成果物として提出するものです。課題解決に向けて同僚・上司・関係者に理解をもとめたり、自身の活動の根拠を示す際の材料として、有効に活用して下さい。実践は受講者が一人で行うのではなく、中堅期保健師として自編織の上司、同僚、部下等と共同で取り組んでください。

III. 考察

・今まで気づけなかったことが、コンサルテーションを受けて何回に気がつき「どんなことに意識し実践をし」「そこから見えてきたこと」は何か、「II.実践内容」の今までの実践全体を通しての考察をご記入ください。

IV. あなたの本来実践を通して中堅期保健師として見えてきた役割や課題

・「II.実践内容」の実践・整理・記入を通して、あなたが中堅期保健師として見えてきた役割や課題(どんな実践活動をしてそこからどんな気づきがあったのか) 具体的に記入してください。

V. コンサルタントへの相談事項

コンサルタントへの相談事項がありましたらご記入ください。

VI. 実践上の困難点

例) 予算、時間、スタッフとの情報共有などで実践する上で困難だった事項をご自由に記入ください

平成 24 年度 厚生労働省 先駆的保健活動交流推進事業
中堅期保健師コンサルテーションプログラム 課題について (後期)



1. 課題について

1) 課題 1：「様式 4、実践内容記入シート」の作成

- 用紙サイズ、枚数について：様式 4 **A4、6ページ以内**におまとめください
- 中期 II で提出した (様式 4) を加筆修正して再提出してください。以前お渡しいた記入要領をご参照下さい。

2) 課題 2：「様式 5、自組織への政策提言資料」(今後のアクションプラン)の作成

- 用紙サイズ、枚数について：様式 5 **A4、2ページ以内**におまとめください
- 内容：自組織で実際に予算担当者や上司に政策提言する際のプレゼン資料として作成してください(様式自由)。提言先の欄には、誰に対しての提言資料なのかを明記してください(例：〇〇市長、〇〇課部長)。(どこ(誰)に提言すれば事業化でき予算化できるかは、各組織によって違います。ご自身の実際の現状に合わせて提言先や書式を決め、政策提言資料を作成してください)。

3) 課題 3：「自組織への政策提言資料」(パワーポイント)の発表用資料の作成

- 用紙サイズ、枚数について：**パワーポイント、スライド 4 枚以内**におまとめください
- 内容：自組織で実際に予算担当者や上司に政策提言する際のプレゼン資料として作成してください(様式自由)。(1 枚目の右上に、分野名・氏名・提言テーマ・提言先を明記してください)。上記「2) 課題 2：「様式 5、自組織への政策提言資料」(今後のアクションプラン)」の内容を盛り込んでください。

2. 資料の配布について

- 提出していただいたレポート「様式 4、実践内容記入シート」「様式 5、自組織への政策提言資料」「自組織への政策提言資料 (パワーポイント)」は、プログラム参加者全員に配付し共有することが前提となります。また、一部の方の「様式 4、実践内容記入シート」「様式 5、自組織への政策提言資料」「自組織への政策提言資料 (パワーポイント)」は「先駆的保健活動交流推進事業報告書(全国配付)」に一部掲載する可能性があります。予めご了承ください。(部外秘となつている事項等については、各自、ご判断のうえ、記載において、固有名称を使わないなどの工夫をお願いいたします。)

3. 課題「様式 4、実践内容記入シート」と「様式 5、自組織への政策提言資料」の「後期プログラム」での発表について

1) 様式 4、5 の内容について、2 月 8 日 (金)、9 日 (土)「後期プログラム」では、下記の通りご発表していただきます。

- 1) テーマ別グループワークで、グループ内で発表していただきます。
- 2) テーマごとに代表者 1 名の方に全体発表していただきます(その際、**課題 3 のパワーポイントを使用いたしますので、各自テーマをご持参ください**)。発表者の方は当日決定いたします。

2) 発表時間

- 1) 発表時間は、グループワーク(全員)、全体発表(テーマ別代表者)共に、1 人 10 分でお願致します(時間厳守)。

3. 課題(様式 4)とアンケートの提出について

1) **後期プログラム課題提出**「様式 4、実践内容記入シート」「様式 5、自組織への政策提言資料」「自組織への政策提言資料(パワーポイント資料)」と「受講者アンケート W)」は、**2 月 1 日 (金) 12:00**までに E-mail に添付して提出してください。

2) **最終提出**：後期プログラム受講後、「様式 4、実践内容記入シート」「様式 5、自組織への政策提言資料」を加筆修正したものと「受講者アンケート V」「評価シート (プログラム評価)」「評価シート (自己評価シート)」のご提出をお願いいたします。**最終提出期日 2 月 15 日(金)12:00**までに E-mail に添付して提出してください。

3) 提出の際には、シートすべてにテーマと氏名の記入を忘れずをお願い致します。

提出先 E-mail : jna-phn@nurse.or.jp

本プログラムでの取り組みは、一人で実践するのはなく、中堅期保健師として自組織の上司、同僚、部下等と共同で取り組んでください。

■担当部署
公益社団法人 日本看護協会 事業開発部
〒150-0001
住所 東京都渋谷区神宮前 5-8-2
電話 03-5778-8549(ダイヤルイン)
FAX 03-5778-5602
e-mail: jna-phn@nurse.or.jp(録音・メール)

実践様式1. 実践内容記入シート(事前課題)

ID:

提出日：平成 年 月 日()
 テーマ：
 氏 名：

I. 実践テーマ(タイトル)

II. 実践内容

1. 担当する地域の健康に関するテーマ等の整理・課題分析

2. 法的・政策的な情報整理

3. これまでの取り組み・関連事業の総括

実践様式2. 実践計画記入シート

ID:

提出日：平成 年 月 日()
 テーマ：
 氏 名：

■ 実践テーマ(タイトル)

■ 実践テーマ設定理由

■ 実践計画

内容	実施内容	実施 (者・部署・機関 等)	協力 (者・部署・機関 等)	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	備考
各基幹ごとの人口及び高齢化率・災害要援者の分布について集約 ①地域テーマ等の整理分析 (記入例) 要介護認定新規申請者の疾病状況変化の確認 要介護認定申請者の保健事業参加状況確認	各基幹ごとの人口及び高齢化率・災害要援者の分布について集約	地域包括支援センター 地域コーディネーター	住民課(福祉係) 保健所 市健康増進課 防災課								
	要介護認定新規申請者の疾病状況変化の確認	地域包括支援センター	高齢者支援課								
①地域テーマ等の整理分析	要介護認定申請者の保健事業参加状況確認	保健福祉課 総務	地域包括支援センター								
②法的・政策的な情報整理											
③これまでの取り組み・関連事業の総括											
④対象者聞き取り訪問と事例検討											
⑤関係する機関・者への聞き取り訪問											
⑥継続的活動計画・実施											

※赤字は記入要領です。実施に記入する場合は、削除してご記入ください。
 最大A4サイズ2ページに納めてご記入ください。

実践様式3. 実践内容記入シート

ID: _____

提出日：平成 年 月 日()
分野名：
氏 名：

I. 実践テーマ(タイトル)

II. 実践内容 (書式自由)※1~6 までの実践した部分のみの結果をご記入ください。

1. 地域データ等の整理分析

2. 法的政策的情報整理

3. これまでの取り組み、関連保健事業の総括

4. 対象者聞き取り訪問と事例検討

5. 関係する機関・者への聞き取り訪問

III. 考察

IV. あなたの本実践を通して中堅保健師として見えてきた役割や課題

V. コンサルタントへの相談事項

VI. 実践上の困難点

例) 予算、時間、スタッフとの情報共有などで実践する上で困難だった事項をご自由に記入ください

実践様式4. 実践内容記入シート

ID: _____

提出日：平成 年 月 日()
分野名：
氏 名：

I. 実践テーマ(タイトル)

II. 実践内容 (書式自由)※1~6 までの実践した部分のみの結果をご記入ください。

1. 地域データ等の整理分析

2. 法的政策的情報整理

3. これまでの取り組み、関連保健事業の総括

4. 対象者聞き取り訪問と事例検討

5. 関係する機関・者への聞き取り訪問

6. 組織的活動計画・実践

- 1) 活動目的
- 2) 活動方法
- 3) 活動の評価指標

評価項目	評価指標
インプット (企画評価・ストラクチャ評価)	
アウトプット (実施評価)	
アウトカム (結果評価)	

- 4) 活動結果
- 5) 評価結果

III. 考察

実践-様式 4. 実践内容記入シート

ID:

IV. あなたの本来職を通して中堅保健師として見えてきた役割や課題

V. コンサルタントへの相談事項

VI. 実践上の困難点

実践-様式 5. 自組織への政策提言資料

ID:

提出日：平成 年 月 日（ ）
分野名：
氏 名：
提言先：

中堅期保健師コンサルテーションプログラム(行政分野)検討委員会

(敬称略・五十音順)

◎：委員長

委員	宇田優子	新潟医療福祉大学健康科学部看護学科／准教授
◎	佐久間清美	日本看護協会保健師職能委員・ 愛知県立大学看護学部看護学科／教授
	野村美千江	愛媛県立医療技術大学保健科学部看護学科／教授
	堀井とよみ	日本看護協会 保健師職能副委員長・ 京都光華女子大学健康科学部看護学科／教授
	三上房枝	社団法人滋賀県看護協会／第二副会長
オブザーバー	尾田進	厚生労働省健康局がん対策・健康増進課保健指導室／室長
	村中寿江	厚生労働省健康局がん対策・健康増進課保健指導室
担当理事	中板育美	公益社団法人日本看護協会／常任理事
担当部署	村中峯子	公益社団法人日本看護協会／事業開発部長
	亀ヶ谷律子	公益社団法人日本看護協会

**平成 24 年度厚生労働省先駆的保健活動交流推進事業
保健師の計画的な育成を含む現任教育体制の検討事業**

**中堅期保健師コンサルテーションプログラム
実施報告書**

**コンサルタント・企画運営担当者の手引き
—プログラムの普及と実施に向けて—**

発行日 2013 年 3 月 31 日
編集 公益社団法人 日本看護協会 事業開発部
発行 公益社団法人 日本看護協会
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2
TEL 03-5778-8831 (代表)
FAX 03-5778-5601 (代表)
URL <http://www.nurse.or.jp>

※本書からの無断転載を禁ずる

平成24年度 先駆的保健活動交流推進事業

保健師の計画的な育成を含む
現任教育体制の検討事業

中堅期保健師コンサルテーション
プログラム実施報告書



コンサルタント・
企画運営担当者の手引き
—プログラムの普及と実施に向けて—

平成25年3月

公益社団法人 日本看護協会